



所沢市民文化センター ミューズ

平成24年7月10日号(年6回1・3・5・7・9・11月発行) 発行元 財団法人所沢市文化振興事業団
〒359-0042 埼玉県所沢市並木1-9-1 TEL. 04-2998-6500

InfoMart インフォ・マート

(自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ) 04-2998-7777 | <http://www.muse-tokorozawa.or.jp>

vol. 60
Take Free!



世代を超えて心に響く 大人のユニット「やもり」

二人にしか生み出せない
うたを届けたい

未来へ羽ばたく才能を聴く

世界が認める

逸材の競演

村治奏一／小林沙羅 ▶ P1

所沢ミューズにハワイの風が吹く

フラガールの憧れ

エイミー・ハナイアリイ

登場! ▶ P2

世代を超えて心に響く大人のユニット「やもり」

二人にしか

生み出せないうたを届けたい

日本を代表するトップシンガー森山良子さんと矢野顕子さんのユニット「やもり」が所沢ミューズに初登場。「やもりツアーやもりやもり」をしてやります。心にしみる大人のフォークソングをご堪能ください。



9/2(日) チケット絶賛発売中

17:00 開場 17:30 開演 アークホール
S席¥5,500 A席¥4,500 B席¥4,000
※未就学児の入場はご遠慮ください。

—ソロと「やもり」での活動の違いや、二人でよかつたなと思うことなどを教えてください。

森山○一人では絶対に歌わない、また歌えないタイプの曲に出会えたり仕上がりする。肩の力を抜き、二人で聴き合い、その中から生まれる新しい世界に出来ることが「よかつたな」と思える点ですね。

矢野○そのとおりだと思う。ソロだと一人で全責任を負うわけですが、やもりだと等分で、しかも楽しみは倍になる!

作詞・作曲のアイデアはどのよう浮かぶのですか? また、今後チャレンジしたい曲などありますか?

森山○自分一人だけでは歌わないものや世界観を探しています。二人で生まれない世界があると思うんですよね。矢野○作詞も作曲も、偶然わいてくることもあります。

—一度でいくつものお料理を味わつていただけるよう美味しいコンサートにしたい

ればピアノの前できちんと作ることもありでありますかね。

森山○エラ・フィッツジエラルドやバーブラ・ストライサンドですね。

矢野○あまりにたくさんすぎて名前が挙げられません。ベートーヴェンとか、オフの日はどのように過ごされていますか?

森山○買い物、縫いもの、読書。矢野○映画を見るのが好きです。

ソロだと一人で全責任を負うわけですが、やもりだと等分で、しかも楽しみは倍になる!

—まず「やもり」結成のいきさつを教えてください。

森山○矢野さんがニューヨークに居を移す前であります。もともと大変興味のある人でしたので、私のアルバムに曲を作つてほしいとお願いしたんです。

矢野○そうそう。私が森山さんに曲を書いたのがきっかけでした。その後はお互いのコンサートに出たりしているうちに、これはイケルんではないかと思って。森山○うん。矢野さんの「さとがえるコンサート」にゲストで呼んでいただきして共演を重ねるうち、気がついたらやもりができるあついました(笑)。

—「やもり」の名前の由来を教えてください。森山○それはもう、やもり……です。ほかにもタロ・ジロとか、ざるとうわばみとかありますたが……。

矢野○結局、矢野と森山を足しただけですよ。矢野○とにかく歌がうまい。これだけ歌のうまい人は日本にそんなにいません。直してほしいところなんてありませんよ(笑)。そのまんまであと50年は歌つていただきたい。

森山良子

1948年、東京生まれ。1967年「この広い野原いっぱい」でデビュー。「禁じられた恋」「涙そうそう」など数多くのヒット曲を生み出す。「さとうきび畑」では第44回日本レコード大賞最優秀歌唱賞を受賞。国内外でコンサート活動を続ける、日本を代表するシンガーソングライター。2010年、矢野顕子とユニット「やもり」を結成。

矢野顕子

森山良子

1948年、東京生まれ。1967年「この広い野原いっぱい」でデビュー。「禁じられた恋」「涙そうそう」など数多くのヒット曲を生み出す。「さとうきび畑」では第44回日本レコード大賞最優秀歌唱賞を受賞。国内外でコンサート活動を続ける、日本を代表するシンガーソングライター。2010年、矢野顕子とユニット「やもり」を結成。

—2年ぶりの「やもり」コンサートですが、コンサートやツアーで楽しみにしていることはありますか?

森山○おいしいもの

矢野○とにかく二人で歌えるっていうこと自体が楽しみでしようがない。そしてその間にいろんなことをおしゃべりするのも楽しいんです。

森山○おいいもの

矢野○とにかく二人で歌えるっていうこと自体が楽しみでしようがない。そしてその間にいろんなことをおしゃべりするのも楽しいんです。

森山○おいいもの

矢野○とにかく二人で歌えるっていうこと自体が楽しみでしようがない。そしてその間にいろんなことをおしゃべりするのも楽しいんです。

森山○おいいもの

矢野○とにかく二人で歌えるっていうこと自体が楽しみでしようがない。そしてその間にいろんなことをおしゃべりするのも楽しいんです。

森山○おいいもの

矢野○とにかく二人で歌えるっていうこと自体が楽しみでしようがない。そしてその間にいろんなことをおしゃべりするのも楽しいんです。

森山○おいいもの

矢野○とにかく二人で歌えるっていうこと自体が楽しみでしようがない。そしてその間にいろんなことをおしゃべりするのも楽しいんです。

森山○おいいもの

矢野○とにかく二人で歌えるっていうこと自体が楽しみでしようがない。そしてその間にいろんなことをおしゃべりするのも楽しいんです。

プレ・能楽体験ワークショップ 「能を体験してみよう!」を開催しました!

能の魅力を味わった1日 —

5月26日(土)、7月から始まる「能楽体験ワークショップ」に先がけ、「もっと気軽に」能を体験できるプレ講座「能を体験してみよう!」を開催しました。当日は、小学生から80代までと幅広く28名の方が参加しました。

講師の観世流能楽師・遠藤喜久さんによる能の解説から始まり、基本動作の練習へと講座は進んでいきます。一見簡単そうに見える基本の歩き方(すり足)も、実際に体験してみると体がユラユラしたり、背中が丸まったり、悪戦苦闘……。

ところが、遠藤師から綺麗な立ち方のアドバイスを受けると次第に背筋の伸びた歩き方ができるようになりました。最後には全員で『老松』を舞って締めくくりました。

短い時間でしたが、参加者の皆さんには熱心に取り組んでいただき有意義な時間となりました。

ワークショップの成果を本番の舞台で披露

「能楽体験ワークショップ」の「一般の部」の募集は6/30(土)をもって終了いたしました。たくさんの応募ありがとうございました。

小学3年生~中学3年生まで参加可能な「中小学生の部(全3回)」は7/31(火)まで募集中です。詳細は月刊情報紙ミューズ、またはHPをご覧ください。たくさんのご応募お待ちしています。



8/26(日) チケット絶賛発売中

伝統芸能普及事業 能楽講座
触れてみよう! 能楽の世界

12:30開場 13:00開演 キューブホール
料金/全席指定 一般¥2,500 中学生以下¥1,000
<第1部>能楽体験ワークショップ生徒発表
<第2部>お話『能楽のススメ』、装束の着付け、能『安達原』黒頭
※未就学児の入場はご遠慮ください。



近日開催

Coming Soon!!

このほかにも多くの公演を予定しております。
詳しくは、月刊情報紙ミューズまたはHPにてご確認ください。
※下の表内に特別な表記がない公演については、未就学児の入場はご遠慮ください。

日時	会場	公演名	料金	曲目・出演者など
7/14(土) 14:30開場 15:00開演	アークホール	ニューヨーク・フィル・プラス・クインテット	S席¥4,000 A席¥3,000 高校生以下¥2,000	曲目/ガーシュウイン: アイ・ガット・リズム ラテン・アメリカ組曲、A列車で行こう ほか
7/20(金) 18:30開場 19:00開演	マーキーホール	第75回所沢寄席 花形よったり競演会	S席¥3,000 A席¥2,000(残席僅少) B席¥1,000完売	出演/柳家喬太郎、立川生志 桃月庵白酒、桂かい枝 ほか
7/24(火) 18:00開場 18:30開演	マーキーホール	劇団四季 ファミリーミュージカル 王様の耳はロバの耳	全席完売御礼	※3歳未満のお子様の入場はご遠慮ください。
7/28(土) 1日2回公演 ①10:30開演 ②14:00開演 ※開場は各回30分前	マーキーホール	親子で楽しむクラシックコンサート 音楽の絵本	全席指定 一般¥1,500 3歳~小学生¥800	出演/ズーラシアンプラス(金管五重奏) 弦うさぎ(弦楽四重奏) ※3歳未満のお子様の入場はご遠慮ください。
9/9(日) 11:00開場 11:30開演 (15:00開演の公演は完売)	キューブホール	栗コーダーカルテット コンサート	追加公演 全席指定 一般¥2,800 4歳~中学生¥1,800	曲目/ビタゴラスイッチ オープニングテーマ ほか ※4歳未満のお子様の入場はご遠慮ください。
9/15(土) 18:00開場 18:30開演	マーキーホール	あべや 津軽三味線スペシャルライブ	S席¥2,000 A席¥1,500 B席¥1,000(残席僅少)	出演/あべや(津軽三味線)、根本麻耶(民謡) ゲスト/矢部遼翔(書道家) ※4歳以上有料。3歳以下膝上無料。お席が必要な場合有料。
10/12(金) 18:30開場 19:00開演	マーキーホール	第76回所沢寄席 柳家小三治一門会	7/28(土)発売 S席¥3,000 A席¥2,000 B席¥1,000	出演/柳家小三治 ほか
10/20(土) 18:00開場 18:30開演	マーキーホール	沖仁 AUTUMN-WINTER TOUR 2012 フラメンコギターコンサート	7/14(土)発売 S席¥4,500 A席¥4,000	出演/沖仁(フラメンコギター) 高岸弘樹(バルマ、カンテ) ほか
10/26(金) 18:30開場 19:00開演	キューブホール	寺神戸亮 & 鈴木雅明	全席指定 一般¥3,500 メンバーズ特割¥3,000	曲目/ビーバー: ロザリオのソナタより ほか

チケットのお求めは……ミューズチケットカウンター

04-2998-7777

チケット
ぴあ

24時間受付 ※火・水2:30~5:30はシステムメンテナンスのため受け付停止 ※一般発売初日は10:00より

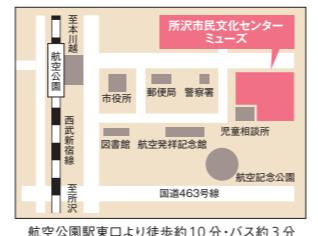
○電話予約 10:00~18:00 / 窓口販売 10:00~19:00(休館日を除く)
○発売初日は、お一人様6枚までとさせていただきます。
○ご予約いただいたチケットは、ミューズチケットカウンターのほか、チケットぴあ、セブンイレブン、サークルK・サンクスにてお引き換えていただけます。

ローソン 0570-000-407 / http://l-tike.com
チケット
ぴあ

10:00~20:00 オペレーター対応

※チケットぴあ・ローソンチケットともにインターネットでのチケット購入には事前登録が必要です。※公演当日、駐車場は大変混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。

※公演情報は2012年6月26日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなることもありますので、ご了承ください。※P席はステージバック席です。



パイプオルガン 歳時記

松居直美

vol 1

オルガニスト/ミューズ音楽アドバイザー



不思議の国のオルガン オルガンの国の不思議

パイプオルガンの魅力とは何でしょう、という質問をされることがよくある。日本にも普及したとはいえ、パイプオルガンは「一家に一台」という性質の楽器ではない。魅力も解りづらい。理由はいくつかある。まずガタイがデカイ。なぜなら、パイプオルガンの場合、一つの音色の、一つの音を出すために一本のパイプが必要だからである。つまり音色の数×鍵盤の数のパイプが必要で、更に、同時に何本ものパイプが鳴る音色もあって……とややこしい説明をするが、相手は「まったくついてこられません」という曖昧な笑みを浮かべている、ということがある。かくて、ますますパイプオルガンは解りづらい楽器となる。やれやれ、なんと因果な楽器だろう。次に音が大きい。電子楽器のようにヘッドフォンに切り替える、などということは論外だ。上下左右に気を使って暮らしている所ではなかなか難しい。更に、曲名が難解な印象を与える。ハーモニーも聴き慣れない、etc.etc.ごもっとも、ではあるが、私に言わせればいかにも残念である。解りにくい外見の裏に実に奥深く豊かな、知りあうほどに味のある不器用な殿方のような魅力が満載なのがパイプオルガンなのである。そこで、皆さまにも「ハマって」ただくべくパイプオルガンの魅力を(中吊り広告風に言うなら)「徹底解剖!」して「丸ごとお見せし」たいと思う。(それだけで何年分かの連載のネタである)

オルガンという楽器の、他に大きな特徴は、建物と一緒にされることだろう。空間全体を搖るがすように鳴り響く豪華な響き、天から降るような甘やかな音色、これらは音が手のひらに舞い降りるのが見えるような長い響きの空間と相まって発揮されるオルガンの最大の魅力の一つである。作曲家もむろん、この響きを想定して書いている。では、日本にはそんな空間はないから無理ね、というのは少々短絡的かと思う。パイプオルガンという楽器は、建物と一緒にであるがゆえに、その建物に合わせて構築される100%オーダーメイドの楽器なのである。建物の大きさ、材質、目的などを把握したうえで設計

された楽器は、取りつけられた後、「整音」という最も大事な作業をする。一本一本のパイプがその空間でどのように響けば良いか、時間をかけて探し、パイプを微妙に調整してゆく。この作業をする職人をヴォイサー(整音師)と呼ぶ。行程で最も大事な作業であり、ゆえにボスが担当することも多い。その工房の作る楽器の性格を決定してしまうからだ。確かに日本には採算も計算も度外視した、途方もない空間はない。しかし、丁寧に調整されたオルガンの音は豊かだし、空間の中で活き活きとしている。長すぎる残響は音の動きを隠してしまうが、そういうこともなく、極めてクリアで清潔な音を楽しむことができる。これは複雑なフーガなどの演奏にとても適している。

もう一つの魅力は、オルガンという楽器が、設置された時代をそのまま映すことである。動かない楽器であるから、その時、その場の音楽の嗜好、時代の雰囲気がそのまま刻まれている。ヨーロッパの古い楽器は度重なる修復を経て、楽器の中に数世紀の時代が混在している。時間のみが釀し出した複雑な音色の魅力は、古い弦楽器などでも味わえるが、オルガンの場合は、それに地域性が加わり、大変興味深いと言えよう。音色の背後に当時の人々の喜怒哀楽や信仰、苦悩、ひいては時代の温度や文化などまでを想像できるのは、「動かない」楽器こそであろう。日本の楽器もそのように長い時を刻んでゆく。どのような記憶が音になってゆくのだろう。



Matsui Naomi

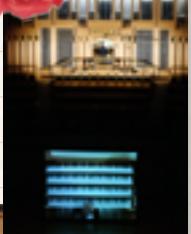
国立音楽大学、同大学院、ドイツ国立フライブルク音楽大学卒業。在学中にブダペストとニュルンベルクの2つの国際オルガンコンクールで優勝し世界の注目をあつめる。繊細で美しい響きとダイナミックな音楽づくりに定評があり、リサイタルやベルリン・フィルなど一流オーケストラとの共演、またコンサートのプロデュースなど幅広く活躍。テレビやラジオなどの出演も多く、聖徳大学では音楽学部教授としてオルガンの指導もしている。所沢ミューズでは、コンサートでの演奏のほかに、アドバイザー、オルガンスクール上級クラス講師も務める。

MUSE アークホール
オルガンコンサート
スケジュール

7/16(月・祝) ▶ オルガンでつづるウィーン音楽紀行 / 15:00開演 出演: ジャン=フィリップ・メルカート S席¥1,200 A席¥800 B席¥500
8/3(金) ▶ ▶ "お昼どき"パイプオルガン500円コンサート / 1日2回公演 ①11:00開演 ②14:30開演 出演: 小野なおみ ¥500
9/23(日) ▶ ▶ ティエリー・エスケシュ オルガンリサイタル / 15:00開演 S席¥2,000 A席¥1,500 B席¥1,000

stage Report 4・5月

春風亭小朝独演会、イングリット・フジコ・ヘミング
ピアノソロリサイタルはチケットが完売。
大盛況のうちに終演しました。
その他盛りだくさんの内容で、4・5月も多くの皆様に
ご来場いただきました。
今後の催し物もぜひチェックしてください！



4/11(水) ■ FRIGG(フリッグ)
<キューブホール>

20(金) ■ 第74回所沢寄席「春風亭小朝独演会」
<マーキーホール>

28(土) ■ “お昼どき”パイプオルガン500円コンサート
<アークホール>出演／ジャン＝フィリップ・メルカールト(オルガン) ほか

5/18(金) ■ イングリット・フジコ・ヘミング ピアノソロリサイタル

<アークホール>曲目／ショパン：12の練習曲 op.25、ムソルグ斯基：「展覧会の絵」
リスト：ラ・カンパネラ ほか

4年ぶりの所沢ミューズでのソロリサイタル。超絶技巧を要するショパンのエチュード、「展覧会の絵」という充実のプログラムが並びました。ゆったりとしたテンポから紡ぎだされる慈愛に満ちた響き、繊細なタッチと絶妙なペダリング、19世紀の巨匠たちを想わせるロマンティックなテンポ・ルバート……。テクニック一辺倒の演奏にはない、味わい深く優しさにあふれた演奏で聴衆を魅了しました。



19(土) ■ マラン・マレの肖像
～フランス・バロックの
ヴィオール音楽の名品をあつめて～
<マーキーホール>
出演／ヴィーラント・クイケン
上村かおり(ヴィオラ・ダ・ガンバ)
クリストフ・ルセ(チェンバロ)



たくさんのご来場
ありがとうございました!!

25(金) ■ ザ・ニュースペーパー
<マーキーホール>

最新ニュースや所沢ネタも盛り込んだ風刺の効いたコントの数々に、笑いが絶えない2時間でした！ 終演後は、メンバー全員がロビーでお見送り。質問や握手など気さくに応じ、最後まで皆さんを楽しませていました。



27(日) ■ プラジャーク弦楽四重奏団

<アークホール>曲目／モーツアルト：弦楽四重奏曲第17番「狩」
ドヴォルジャーク：弦楽四重奏曲第12番「アメリカ」 ほか

チェコが誇る弦楽四重奏の伝統を感じさせる名演奏が繰り広げられました。4つの楽器がそれぞれ個性的な響きを主張しつつ、全体がまるで1つの楽器のように完璧に調和する様は圧巻！ 繊細なハーモニーの中に無限ともいえる豊かな表現を感じさせる素晴らしい演奏に大きな拍手が贈られました。



写真撮影(市民カメラマン)／松崎満(4/11・28・5/27)、塩野入好文(4/20・5/25)、津田資雄(5/18)、中村仁(5/19)

一筆箋

7月8日より所沢市 小手指市民ギャラリーがオープンしました。これを記念して所沢ミューズ主催の「竹久夢二展」を同ギャラリーで開催しております。入場無料となっておりますので皆様お誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください！ 今後も様々な催し物の開催を予定しておりますのでご期待ください。

竹久夢二 夢二が描いた抒情と美人たち

7月8日(日)～14日(土) 10:00～18:30(入場は18:15まで)／入場無料
所沢市 小手指市民ギャラリー(小手指タワーズ2階／西武池袋線小手指駅北口直結2分)

次号インフォ・マートは、9月10日発行予定です。どうぞお楽しみに。



▲エイプリルフル



▼花火